

## 資料 1

## 4 議題

### (1) 【水道事業】

#### 水道事業の現状について

- ① 水道事業の現状について
- ② 今後のスケジュールについて

# ① 水道事業の現状について

## 1. 物価高騰による影響

### ➤ 県営水道料金の値上げに伴う受水費の増加

#### 県営水道料金改定理由

- ・燃料価格の高騰⇒電気料金の増加  
⇒2023年度 純損失見込み

### ➤ 水を供給するための動力費(電気代)の増加

# ① 水道事業の現状について

## ■ 県営水道料金改定案の内容(おさらい)

基本料金は据え置き、**使用料金を2段階で改定**

現行26円 ⇒ **2024.10.1～28円** ⇒ **2026.4.1～32円**  
(2円増加) (6円増加)

区 分		単位	現行料金	改定料金		
				2024年 10月1日～	2026年 4月1日～	
料金単価	基本料金	基礎水量	円/m <sup>3</sup> /年	10,800円	同左	同左
		その他水量	円/m <sup>3</sup> /年	15,360円	同左	同左
	<b>使用料金</b>		円/m <sup>3</sup>	<b>26円</b>	<b>28円</b>	<b>32円</b>

# ① 水道事業の現状について

## ■ 本市水道事業への影響額(おさらい)

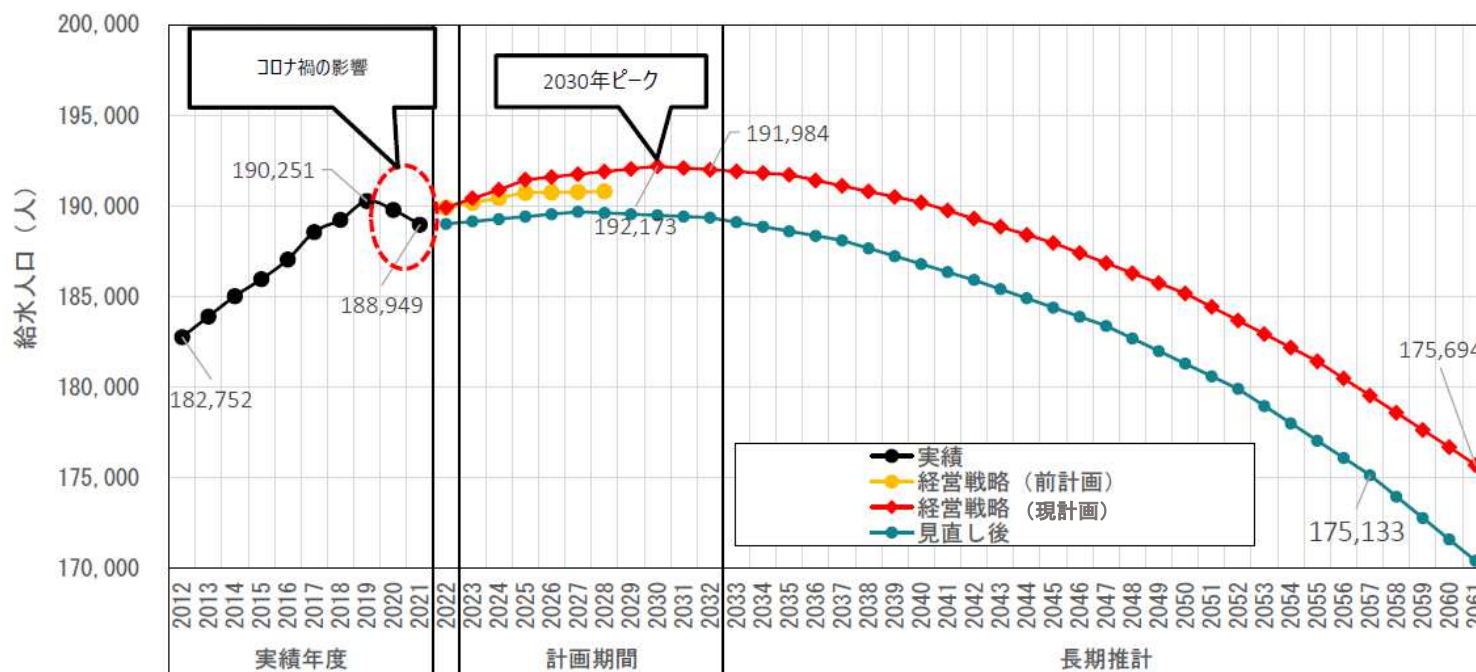
	～2024.9.30 (現行)	2024.10.1～ 2026.3.31	2026.4.1～
R6見込水量(受水量) ①	1,488万m <sup>3</sup>		
使用料金単価 ②	26 円	28 円	32円
使用料金(税込み) ①×②×1.1	4億2,600万円	4億5,800万円	5億2,400万円
現行からの増加額 (年額)	-	3,200万円	9,800万円

# ① 水道事業の現状について

## 2. 人口減少による影響

- 第9次総合計画の人口推計ではさらに早く人口減少が進む見込み

直近人口推計（9次総計）

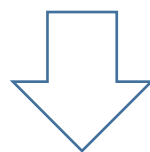


# ① 水道事業の現状について

## 3. 水道施設の耐震化の推進

◆ インフラ整備の重要性

◆ 将来の設備更新費用を見込む検討



災害に強く、安定供給できる水道の維持

## ② 今後のスケジュールについて(予定)

年度	開催月	回数	内 容	
R5	2月		諮問	適正な水道料金のあり方について
R6	6月 ～3月	6回 程度	審議	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現状分析／料金改定の必要性検討</li><li>・ 財政収支見通し</li><li>・ 料金水準、料金改定案の考え方</li><li>・ 料金体系案の提案・決定</li><li>・ 答申書案の審議</li></ul>
R7	5月頃		答申	

### 【答申後の流れ】

- 答申内容を踏まえて、市長が判断します。
- 条例改正議案を議会に上程し、可決後、周知期間を経て、改定となります。
- 諮問から改定まで約2年ほどかかる予定です。